

汎用性の高い行動変容プログラム

特定健診・がん検診等の保健事業の場における禁煙支援

健診・検診等の保健事業の当日

事後

最低限

喫煙状況の把握（問診票）

全員

短時間の禁煙の情報提供・アドバイス

標準

全員

診察担当医師からの禁煙の勧め

全員

禁煙希望者

禁煙外来等の紹介

電話フォロー

1カ月後

充実

全員

全員

禁煙希望者

2週間後

1カ月後

2カ月後

6カ月後

提案した事業内容一段階別(特定健診の場合)

【最低限の取り組み】

健診当日: **全ての喫煙者に短時間の情報提供・アドバイス**(指導時間1~2分)

【標準的な取り組み】

健診当日: **診察担当医師からの禁煙の勧め**(一言アドバイス15~30秒)

+ **全ての喫煙者に短時間の情報提供・アドバイス**(指導時間1~3分)

+ **禁煙希望者に禁煙外来の具体的紹介**(指導時間1~2分)

健診後の電話フォローアップ: 1ヵ月後(指導時間1~2分)

【充実した取り組み】

健診当日: **診察担当医師からの禁煙の勧め**(一言アドバイス15~30秒)、

+ **全ての喫煙者に短時間の情報提供・アドバイス**(指導時間1~3分)

+ **禁煙希望者に禁煙外来の具体的紹介**(指導時間1~2分)

+ **[オプション]呼気一酸化炭素濃度測定**(指導時間3~5分程度)

健診後の電話フォローアップ: 2週間後、1ヵ月後、2ヵ月後、6ヵ月後

(指導時間1~2分×4回)

(注)赤字は、働きかける程度の低い取り組みに比べて追加された新たな内容を示す。

【最低限の取り組み】

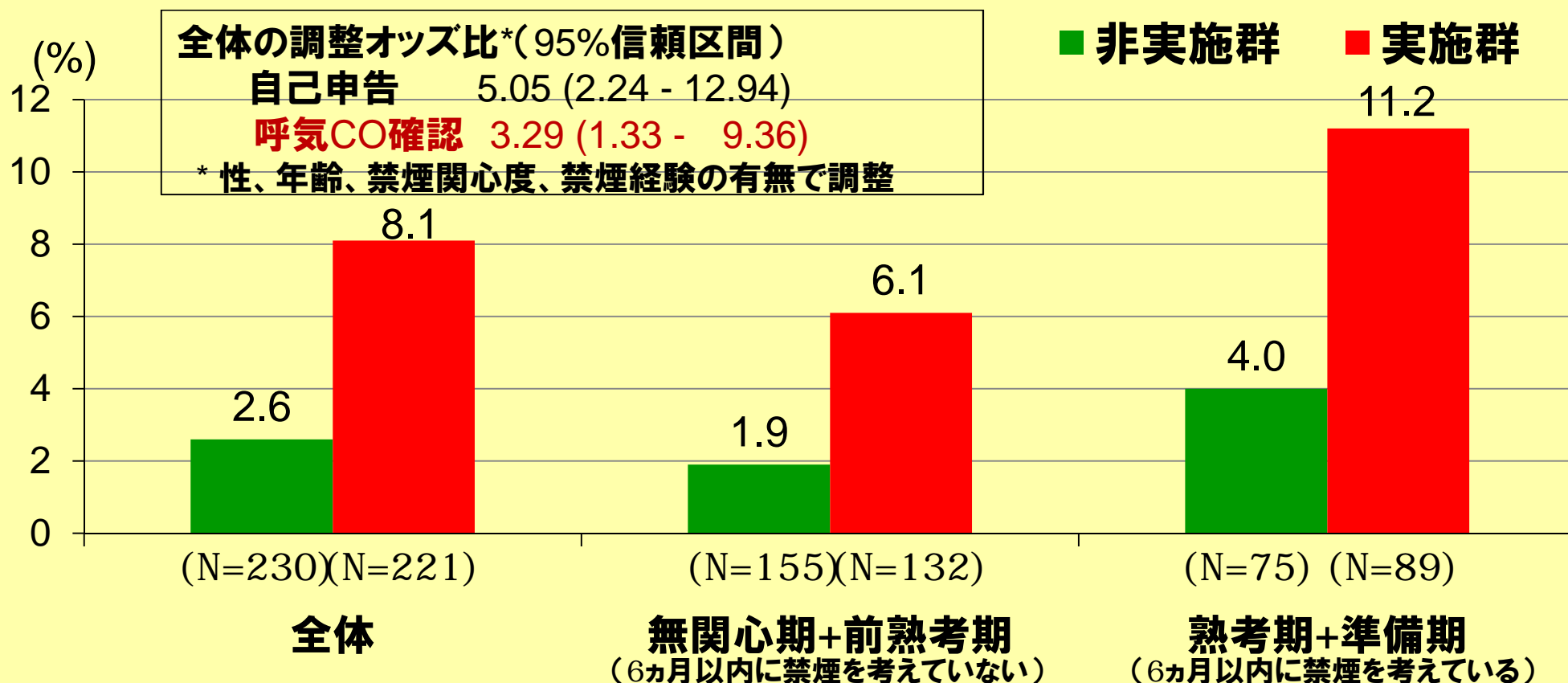
総合健診の場での短時間禁煙支援の効果

— 6ヵ月後断面禁煙率(呼気CO濃度確認) —

方法:大阪摂津市での総合健診(特定健診、がん検診を含む)の場での介入研究、月ごとに割付

対象:実施群221人、非実施群230人(応諾率91.7%、90.9%)、実施時期:2011~12年

禁煙支援の内容:実施群は診察医師の禁煙の助言と保健指導実施者による1~2分間程度の禁煙支援、非実施群はアンケート調査のみ



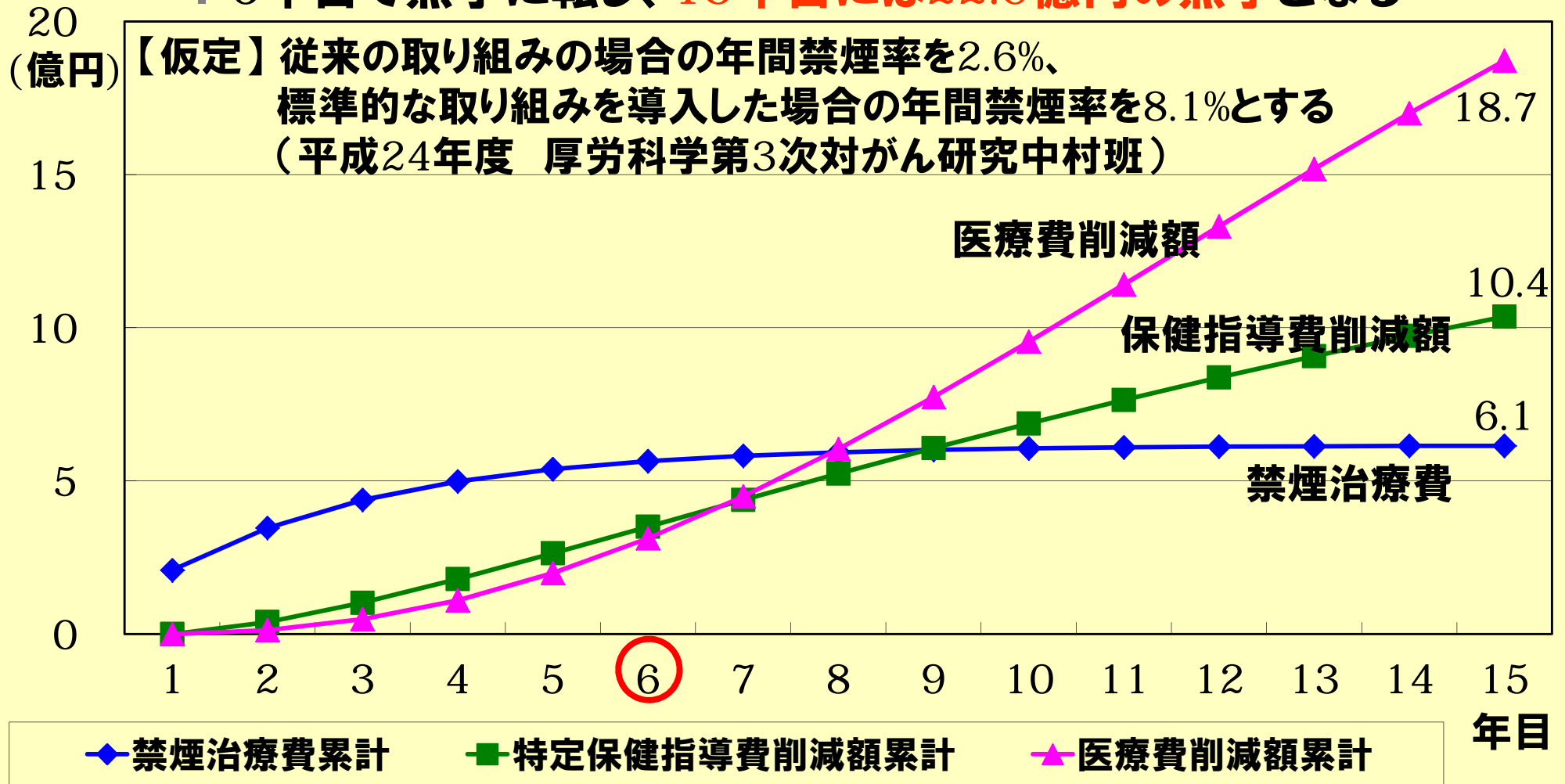
(中山富雄、嶋田ちさ: 健診・検診や保健指導の場における禁煙支援の事例報告「特定健康診査・特定保健指導における禁煙支援から始めるたばこ対策」日本公衆衛生協会. 2013年8月.)

【最低限の取り組み】

保健事業の場における禁煙支援の経済効果(累積)

大阪府国保における特定健診受診者 46.0万人(喫煙者6.9万人)が対象

6年目で黒字に転じ、15年目には22.9億円の黒字となる



(*) 本推計にあたっては、平成19年度厚労科学 第3次対がん研究 中村班で実施した推計結果をもとに算出した。